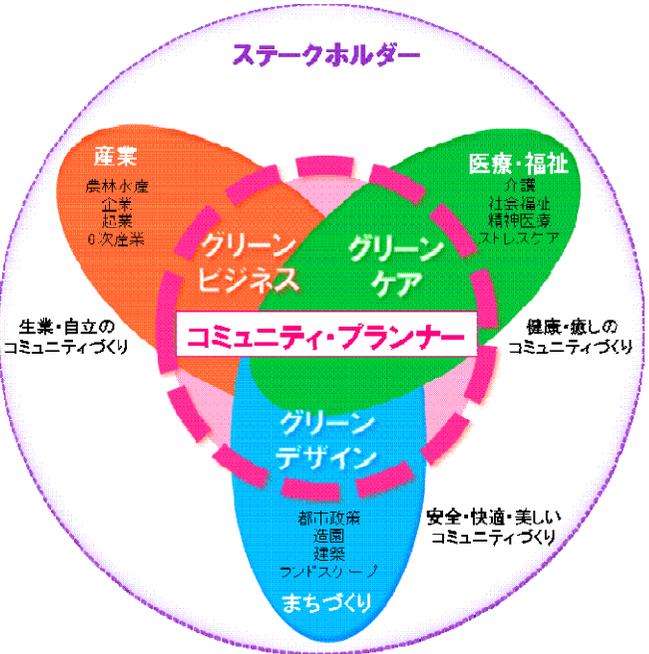


取組名称：コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築

取組大学：宮城大学(代表校)、兵庫県立大学

本取組は、宮城大学と兵庫県立大学が相互の強みを活かして連携し、地域社会が抱える課題解決と健全な地域コミュニティの担い手となる人材＝コミュニティ・プランナーを育成するための実践的人材育成の教育課程を構築するとともに、ステークホルダーと協働し、社会の要請に応え地域再生サイクルの原動力となる地域連携教育拠点(CPEC)の設置・運営を行うものである。

学生と地域住民がフィールドワークを織り交ぜながら共に学ぶ「コミュニティ・スクール」



グリーンデザイン、グリーンケア、グリーンビジネスをコア教育として、地域社会(ステークホルダー)から求められる人材の育成を行う

目標1:「コミュニティ・プランナー育成プログラム」の設計と確立

期待される成果 →コミュニティ・プランナー育成の体系的カリキュラム、テキスト、演習、教材開発
→両校の共同教育として行うための基盤整備(遠隔授業システム等)

目標2:「コミュニティ・プランナー教育センター(CPEC:シーベック)」(仮称)を設置運営

期待される成果 →CPECの組織体制や事業計画の確定と企画・運営・継続性の確保
→CPECを核とした地域再生サイクルの起動

目標3:社会ニーズに合った質の高い教育の提供と効率的な大学運営

期待される成果 →地域ステークホルダーと協働した教育コースの評価体制組織の形成
→地域のニーズにあった実践的な人材の輩出
→両校の教員派遣による、多様なコミュニティ・プランナー教育カリキュラムの提供
→両校の有する実践的教育フィールドの有効活用。
→遠隔授業施設等の整備による、学生教員の時間的、経済的、肉体的負担の軽減



連携大学、ステークホルダーが一体となったプログラム実施体制